

風立ちぬ

『志高く 未来を切り拓く』立川中学校通信
第8号 令和3年8月24日(火)発行

2学期の抱負!!

2学期のスタートを、全員でむかえることができ、嬉しく思います。始業式において、各学年生徒代表が2学期の抱負を発表しました。

- ☆1年 □□□□さん「あたりまえのことをしっかり行えるように」
- ☆2年 □□□□さん「与えられた宿題+自分で課題を見つけ取り組む」
- ☆3年 □□□□さん「受験は団体戦。また、行事を通し成長したい」

3人とも発表を通し、自分の背中を押すと共に、クラスの仲間に「一緒に頑張っていこう」とエールをおくってくれました。(詳しくは学年だよりで)

新学期

生徒会スローガン完成!!

夏休みの時間を活用し、生徒会リーダーが体育館ステージに掲げる『生徒会スローガン』を完成させてくれました。緑のグラデーションがとても鮮やかで、1年生、2年生、3年生が協力して高め合っていくことを表現したデザインとなっています。



“自分は何者なのか”を証明することができた

今年の夏は、オリンピックのメダルラッシュで盛り上がりました。今回私が注目したのは、柔道の大野将平選手の試合に向かう姿でした。勝った瞬間、彼はガッツポーズもせず、笑顔も見せず、礼をすますと、対戦相手の健闘を讃えました。「相手が試合をしてくれたおかげで私は勝つことが出来た」



私が勝利を収めたなら、しかも逆転で勝ったなら、もう嬉しくてその場ではしゃいでしまいそうです。でも彼は、武道の精神を重んじ行動したのでした。

日本人は喜びを表現するのが下手であると評価されてきました。それを払拭するように、最近のスポーツ選手は勝利を収めた瞬間に、敗者の前で喜びを表現しています。大野選手は、負けた相手の悔しさに心を向け、負けて悔しい思いをしている相手の前で自分が喜べば、ダメ押しになってしまう、と考えたのです。心の向けるところが違っていたのですね。正直、カッコいいと思いました。それは日々の練習から得た考え方であり、彼の生き方です。皆さんにはどのように映ったでしょうか。色々な意見や考え方があって良いと思います。

また、彼は5年前のリオオリンピックでも優勝していますが、インタビューの中で

「子供のころ、好きで始めた柔道がリオ以降は嫌いになって、何のために稽古をやっているのだろうと自問自答する日々でした。この大会も“自分は何者なのか”ということを確認するため、証明するために戦うことができました。厳しい戦いが続いて、五輪という場で理想を体現することの難しさを感じましたし、私自身まだまだだな、と思いました。今後もやはり自分を倒す稽古を継続してやっていきたい」

「自分を倒す稽古」って、どんな練習なんだろう？ 色々な葛藤を乗り越えてオリンピックに出場したんだなぁ □□□□先生が1年生に紹介してくれた「俺の敵は、だいたい俺です」は、私にも当てはまっていて、つい楽な方を選択したり、苦しいことから逃げてしまうことがありました。ですからなおさら「恐怖」「不安」「敵」に向き合うことが出来る大野選手はすごいと思いました。みなさんも「自分を倒す稽古」していますか？自分の弱さを打ち砕く練習なんだと思います。立中生に2学期84日間の中で、自分の生き方や在り方を考えて欲しくてこの話をしました。

二学期始業式での話



応援ありがとうございました

☆柔道（8月5日：宮城県）

男子個人 60 kg級 □□□□さん 2位
66 kg級 □□□□さん 3位

☆バドミントン（8月8日：青森県）

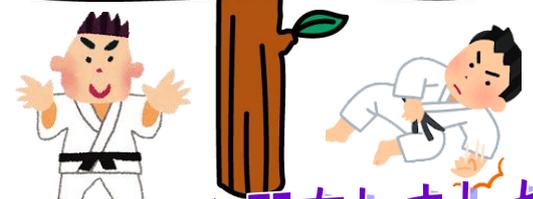
女子シングルス
□□□□さん 2回戦敗退

☆体操（8月9日：秋田県）

女子団体 4位
女子個人総合
□□□□さん 20位
□□□□さん 23位
□□□□さん 44位



感染予防をしっかり行い
全国中学校柔道大会に出場！
8月24日～25日
群馬県前橋市
ALSOK ぐんまアリーナ



不織布マスク配布しました

感染防止対策の有効性から、不織布マスクの着用が推奨されています。それを受けて、庄内町から生徒一人に6枚の不織布マスクを準備して頂き、昨日配布致しました。「自分を守ることが、家族や友達の命を守り、地域・学校や社会を守ることに繋がる」という意識を持って行動して参ります。



新型コロナウイルスの感染を防ぐために

もう一度確認コロナ対策!!

「慣れ」、「これくらいなら大丈夫だろう」

「ストレス発散」、「コロナ疲れ」、「我慢の限界」など色々な言葉で自分を納得させ、つい・・・

先週以来庄内の感染者が増加傾向にあります。感染防止をおろそかにしている人はいませんか？まだまだコロナとの戦いは続いています。医療に従事している方々は、夏休みも、お盆休みも無く感染者のために寄り添ってくれています。もう一度、感染対策への意識を高め、これ以上学校生活が制限されないように、また医療に従事している方々がいつもの様に仕事が出来るように自衛していきましょう。

山形県では8月20日（金）～9月12日（日）までの23日間、「まん延防止集中対策期間」と位置づけ県内全域でコロナ封じ込めを図ります。県内の学校としては、①部活動は自校内の活動に限る、②学校行事は原則自校内での活動に限定することで対応します。我慢が伴いますが、ご協力下さい。

知らないうちに、拡めちゃうから。



咳エチケット



手洗い



換気



密接回避



密閉回避



密集回避



外出控え

手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から帰った時



咳やくしゃみ、鼻をかんだ時



ご飯を食べる時



病気の人のケアをした時



外にあるものに触った時



感染症対策
へのご協力をお願いします

詳しくは保健だよりをご覧ください

